

群馬避難総合対策チーム全体会議（第8回）

議 事 要 旨

1 日 時

令和8年6月15日（月） 10:00～10:50（WEB会議）

2 出席者

- ・ 市町村防災担当部課(室)
- ・ 県関係部課
- ・ 外部関係機関
- ・ 前橋地方気象台、社会福祉法人群馬県社会福祉協議会
- ・ アドバイザー（阪本アドバイザー、榛沢アドバイザー）

3 議 事

- ・ 令和7年度事業報告について
- ・ 避難ビジョンのKPIの状況について
- ・ 令和8年度以降の避難対策について

4 議 事 要 旨

出席者からいただいた主な御意見は次のとおり

- ・ これまで避難の実効性を高める取組を進めていただき感謝する。特に個別避難計画については取組策定率に大きく寄与したと感じている。また、BFTについては民間との連携を視野に入れた取組について評価できる。
- ・ 訓練を通じて、BFTの確保を検討いただくうえで、可能であれば複数の市町村をまたいで被害が出る広域災害について、県としてどのような支援ができるか検討いただきたい。
- ・ 訓練実施することはよいと思うので、実施するだけでなく、訓練を評価する人を育てることが必要である。
- ・ 個別避難計画について、策定が進むことはよいことだが、個別避難計画で避難する人をサポートする仕組みが必要である。個別避難計画と災害ケースマネジメントをどのように連動させるかを今後検討いただきたい。
- ・ 火山、水害、地震などハザード別に被害状況は異なるため、それぞれにきちんと対応できているかはレビューいただきたい。
- ・ 基本的な内容はよいと思うが、一点気になったのは新しい体制になって以前の体制からどのように変わり、具体的に何をするかが明確でないように感じる。
- ・ 宿泊を伴う避難所の訓練を実施したほうがよいと考える。テントや体育館に実際に宿泊することで見えてくる課題もあると思う。熊本で昨年実施をして有意義な訓練となった。
- ・ 広域的に避難を考え、市町村間で融通しあう仕組みづくりが必要と考える。

以上